

「核兵器のない世界」に向けた国際賢人会議
サイドイベント岩屋外務大臣挨拶

2025年4月28日

アジマン議長
御列席の皆様

本日は「核兵器のない世界」に向けた国際賢人会議のサイドイベントにお越しいただき、誠にありがとうございます。

核軍縮をめぐる国際社会の分断が深まり、「核兵器のない世界」に向けた道の一層厳しさを増しています。だからこそ、核兵器国と非核兵器国の双方の参加を得た対話と取組が不可欠です。こうした強い思いから、我が国は2022年に「国際賢人会議」を立ち上げました。

賢人会議には、核兵器国と非核兵器国の双方から、異なる国籍・バックグラウンドを有する15名の委員の皆様に参加いただきました。2年半にわたり6回の会合を重ね、「核兵器のない世界」に向けた道筋を探るべく、真摯かつ闊達に議論を進めてこられました。

そして、先月、考えや意見の相違を乗り越え、その叡智の結晶として、2026年核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議に向けた提言を取りまとめられました。

委員の皆様も、昨今の核軍縮を取り巻く状況に対する強い危機感を抱いています。そうした前提の下、各国が尊重すべき原則を掲げ、「核戦争の防止」、「核軍拡競争の阻止と拡散リスクの低減」、「建設的な2026年NPT運用検討会議に向けた取組」の3本の柱の下で、緊急行動を講じるべきことが訴えられています。

本年は広島・長崎への原子爆弾投下から80年の節目です。あのような惨禍を二度と繰り返してはなりません。我が国は唯一の戦争被爆国として、NPT体制を維持・強化するための取組を主導し、世界各国の皆様と共に、「核兵器のない世界」へ続く道を、一步一步着実に進んでいく決意を新たにしております。この賢人会議による提言は、その際の道しるべとなるものと、確信しております。

最後に、このイベントが、2026年NPT運用検討会議の成功、ひいては「核兵器のない世界」に向けた具体的な方策を改めて考えていただく機会となることを祈念し、私からの御挨拶とさせていただきます。

御静聴ありがとうございました。